

タイの高校生が来日、高校生活体験

タイのメーサイ校からナトナレエ・チェンサンワンさんとアルティタヤ・インカさん、パヤオピタヤコム校からノッパナド・ブアパド君、サオワネ・ティアンプラコンさんの高校生4人と両校の教師ら4人が4月5日に来日しました。4人は、結城市とメーサイ市の姉妹都市締結を記念し、両市の高校生の交流を進めようと、公益財団法人「茨城国際親善厚生財団（I I F F）」の国際交流事業で受け入れ、今年で4年目となりました。

来日後、一行は、前場文夫・結城市長を表敬訪問したり、臼井平八郎県議ら関係者が集まる歓迎会に出席し、高校生たちはタイの民族舞踊などを披露しました。高校生の見事な演技に、関係者は大きな拍手をおくっていました。

4人の生徒は、結城一高と結城二高に分かれ、高

校2年生のクラスと一緒に勉強したり、クラブ活動に参加したりして、約1カ月間、日本の高校生活を体験します。

教師たちは両校の入学式などに出席。日本の教育について興味深く質問などをしていました。教師ら4人は結城で視察を重ね、4月19日に帰国を予定しています。

平成28年4月9日



歓迎式でタイの民族舞踊など披露

